

～世界文化遺産「法隆寺」周辺における 活力創出事業「常楽市」の開催および 地域の魅力発信事業「寺コン」の開催～

法隆寺に近接するという地の利を活かして、法隆寺周辺を散策しながら買い物を楽しむという「常楽市」及び法隆寺周辺の寺社仏閣での仏教体験を組み込んだ「寺コン」を実施し、街歩き観光による商店街の一層の認知度向上を目指した。

商店街の概要と事業を実施した背景

東栄会は、法隆寺南大門の南東約50mのところに位置し、生鮮食品や雑貨店など地域の暮らしに密着した業種で構成されている。法隆寺参道に面していないことから主な顧客は地元住民であったが、郊外型の大手スーパーや激安ショップの影響により近年売上や店舗数が減少しつつある。そこで、新たな顧客層である観光客を呼び込むための仕掛けづくりとして、商店街を含めた法隆寺周辺を散策・体験してもらうイベントを開催した。



実施した事業の概要

①活力創出事業「常楽市」の開催

商店街内の空き店舗や空き地を活用して、飲食・雑貨等の60の出店を設け、来場者に街歩きを楽しんでもらいながら買い物も楽しんでもらうマーケットイベント「常楽市～ikaruga～」を開催。法隆寺と商店街を繋ぐ導線上にメインステージを設け、和太鼓によるコンサートや、ゆるキャラショーで参加者への「おもてなし」を行った。今回のターゲットは地元客に絞り、地域の応援団・商店街のファンづくりに努めた。



②地域の魅力発信事業「寺コン～斑鳩de縁結び～」の開催

県内外から参加者を募り、お寺をテーマとした婚活イベント「寺コン」を開催。法隆寺周辺の寺社仏閣を会場として、数珠づくりや木魚体験等の仏教体験をしてもらった。「常楽市」と同日に開催し、商店街散策ツアーも縁結びの一つとして組み込み、地域住民との交流を楽しんでもらえたことから参加者の満足度は高く、商店街の魅力を知って頂き、リピーターとなつてもらう良い機会となった。また、ツアーコースは法隆寺と商店街を散策するモデルコースにもなった。



成果と成功の要因

「常楽市」は前年の常楽市の5割増し(3,000名)と大いに賑わい、商店街の認知度の向上に大きな効果があった。「寺コン」には県外も含めて45名の男女が参加し、イベント終了時には5組のカップルが成立するなど予想以上の成果を上げることができた。

法隆寺周辺の魅力を認知してもらう今回のイベントの成功の要因としては、地元自治会、JA、商工会等各自得意分野を持つ団体の協力が得られたことが挙げられる。また、東栄会は小規模な商店街のため、奈良県立大学の学生が運営スタッフとして委員会の全会議に出席し、スケジュール調整や当日の運営に当たってもらえたことも成功の大きな要因である。



今後の取り組み

観光客も取込むイベントは今回で2回目であるが、評価が高まり開催を待ちにしている人が増えてきている。このような評価を受けて奈良県立大学では東栄会プロジェクトをカリキュラムに組込むなど支援体制は強化されつつある。地元住民や地域団体等との連携を一層密にして定期的に開催していく予定である。資金手当てについては、イベントの集客力を向上することにより事業所や行政、他団体等からの協賛金を得ることを考えている。